



立憲民主党
岩手県総支部連合会
〒020-0022
盛岡市大通三丁目1番24号
第三菱和ビル5F
TEL.019-625-7852
FAX.019-625-7855

りっけん いわて 県連通信

2022.1.25号

さあ、力を合わせて。

「木戸口氏の公認決定」

立憲民主党は25日、参院選岩手選挙区で現職の木戸口英司参議院議員の公認を決定した。これより前、立憲民主党岩手県連参院選挙対策本部は24日、各種団体などへの推薦要請活動を本格化させた。この日は再選出馬を表明した木戸口英司参議院議員と佐々木順一幹事長らが関係団体を訪問。このうち連合岩手では佐々木秀市会長に会い、直接、推薦依頼書を手渡し支援を求めた。

「津波被害で現地調査～対策求める声相次ぐ」



漁業者からヒアリングする木戸口、横沢両参議院議員



立憲民主党県連災害緊急事態局（木戸口英司局長）は21日、トンガ沖大規模噴火に伴う津波で被害が発生した県沿岸を調査した。調査には木戸口英司参議院議員、県連代表の横沢高德参議院議員のほか、所属県議団が同行。陸前高田市では戸羽市長と広田湾漁協の砂田組合長、大船渡市では戸田市長と大船渡市漁協の巨理組合長ら関係者から被害の状況などについてヒアリングした。

このなかで、海域によっては4割ほどの成果物（カキなど）が落下などの被害により出荷できない可能性があることなどが報告された。また、「養殖棚の被害については、津波の場合は全損にならないと共済がおりない」「コロナ禍によって出荷量の落ち込みが発生しているなかでの被害だ。災害のたびに漁業者が減っており、今後懸念される」など対応をもとめる意見が相次いだ。また、「海況の変化で、サケやサンマなど主力魚種が取れないが、環境面を含めた抜本的な対策をしてほしい」「福島原発事故に伴うアルプス処理水の海洋放流が強行されれば、影響は避けられず死活問題だ」など、水産全体に対する懸念の声も出された。

これに対し、木戸口参議院議員は「災害があっても、生業として持続できる仕組みづくりや支援が必要だ」との認識を示し、関係機関への働きかけとともに、国会での議論を通じて支援につなげられるよう努力することを約束した。

※ 県連活動通信を始めました。Webのみならず、FAXなどでもご覧いただけます。FAXでの購読をご希望の方はお近くの立憲民主党議員団へお知らせください。また、ご意見もお待ちしています。